



石神台

防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会

81号 広報班

令和5年5月

発電機を長年点検・手入れ!

—いつも支えている人たちがいる!—

現在自治会には災害時の停電に備えて3台の発電機があります。投光器や電気調理器、スマホの充電などに使うことができます。

しかし、いざという時に使えないようでは困ります。普段の手入れ・点検はどうなっているのでしょうか?

防災部に聞いてみたところ、「2ヶ月に1度、保管倉庫から出してエンジンのかかり具合や燃料の有無、部品の点検、手入れをやってもらっています。外部に委託ではありません。

機械に明るい方2名がボランティアでやってくれているのです。防災部も立ち会いますが助かっています。」とのことでした。

そこで、防災かわら版編集部は4月29日に行われた定期点検に立ち会ってみました。

ボランティアの方は1丁目と2丁目にお住いで名前が二人とも佐藤さんでした。

試運転の後、次のような話をしてくれました。

「ちょっと前にオイル交換もやっていたのでエンジンのかかり具合は大丈夫です。」



「購入から

19年経つので交換時期に来ています。欲を言えばインバーター付きの発電機にして欲しい。電流が安定するからです。」

「コロナ禍のために訓練が中断していますが、この先は動かせる人、点検できる人を発掘して欲しい …。」などなど。

二人の方はもう長くこのボランティアをやってくれています。災害はいつ発生するかわかりませんが、いざという時に備えて地道に地域を支えている人がいることに感謝でした。(s・k記)

今年度新防災部長あいさつ

石神台自治会防災部部长を拝命しました庄司伸幸です。よろしくお願い致します。

近年、「数十年に一度」「観測史上最大」といった異常気象が多発しており、これまで

では「異常」であった事象が今日の「正常」となっているようにすら感じられます。特に、大雨や土砂災害などは、石神台にとっても他人事ではありません。首都直下地震は、60年以内発生率の%と公表されています。いつ何が起きても不思議ではないとの考えで備えるべきです。

災害発生時には、自助(自身、家庭)、共助(地域、コミュニティ)、公助(公的機関)の連携が不可欠です。防災部の役割は共助にあたりますが、皆様のご協力なしでは何もできません。いざという時に、何をすべきか、何ができるのか。防災意識の向上を目指して取り組んでまいります。



地震アンケート100枚回収…ご協力ありがとうございました。

トルコ・シリアを襲った2月の大地震や東日本大震災12周年にあたり、防災かわら版では前号を『地震アンケート』特別号とし、回収箱への投函をお願いしていたところ100枚を回収できました。

皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。結果等は次号で報告したいと思います。どうぞお待ちください。

ここにマークは無事の印
訓練日みんなで出そう黄色旗

毎月の第1土曜日 午前中



6月は3日
7月は1日
です。
「いざ」という時にあわてない訓練をしよう!

石神台 7日 8日